

2026年3月期 中間期決算説明会

2025年11月13日



日本金銭機械株式会社

東証プライム市場 / 証券コード：6418

■ 中間期 連結業績ハイライト

■ 中間期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期 連結業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■ 中間期 連結業績ハイライト

■ 中間期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期 連結業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

中間期の連結業績は、概ね期初の予想どおりに推移

■ 売上高

米国の関税引き上げを要因に、北米市場への販売は高水準を維持
国内市場では新紙幣改刷需要の一巡により、全体の売上高は減少

■ 営業利益

売上高の減少に加え、収益性の高い製品の販売減少により、営業利益も減少

■ 特別利益

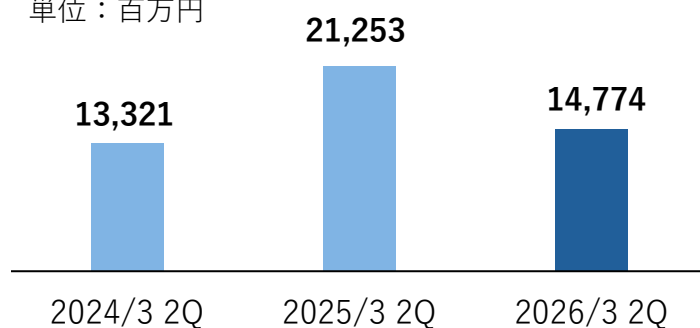
不動産の売却により、固定資産売却益（約32億円）を計上

売上高

14,774 百万円

前年同期比
30.5%減

単位：百万円

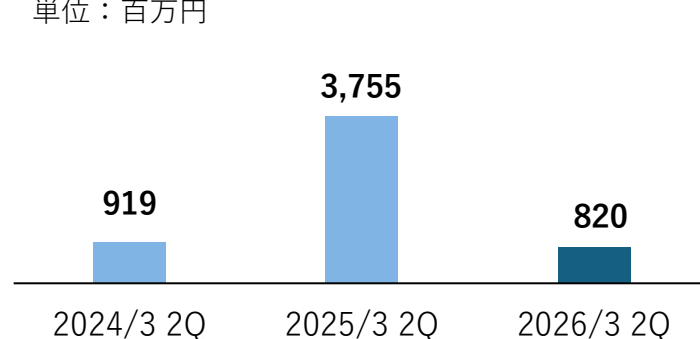


営業利益

820 百万円

前年同期比
78.1%減

単位：百万円

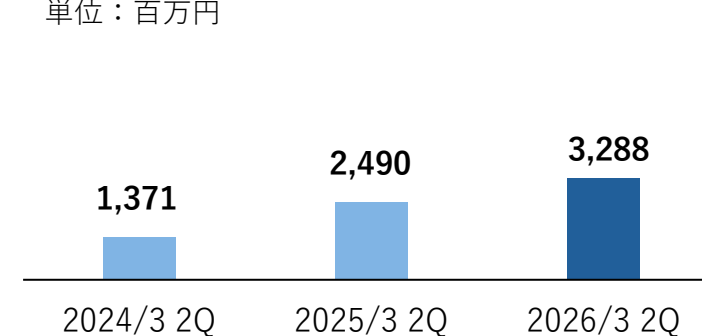


中間純利益

3,288 百万円

前年同期比
32.1%増

単位：百万円



■ 中間期 連結業績ハイライト

■ 中間期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期 連結業績予想

■ 株主還元

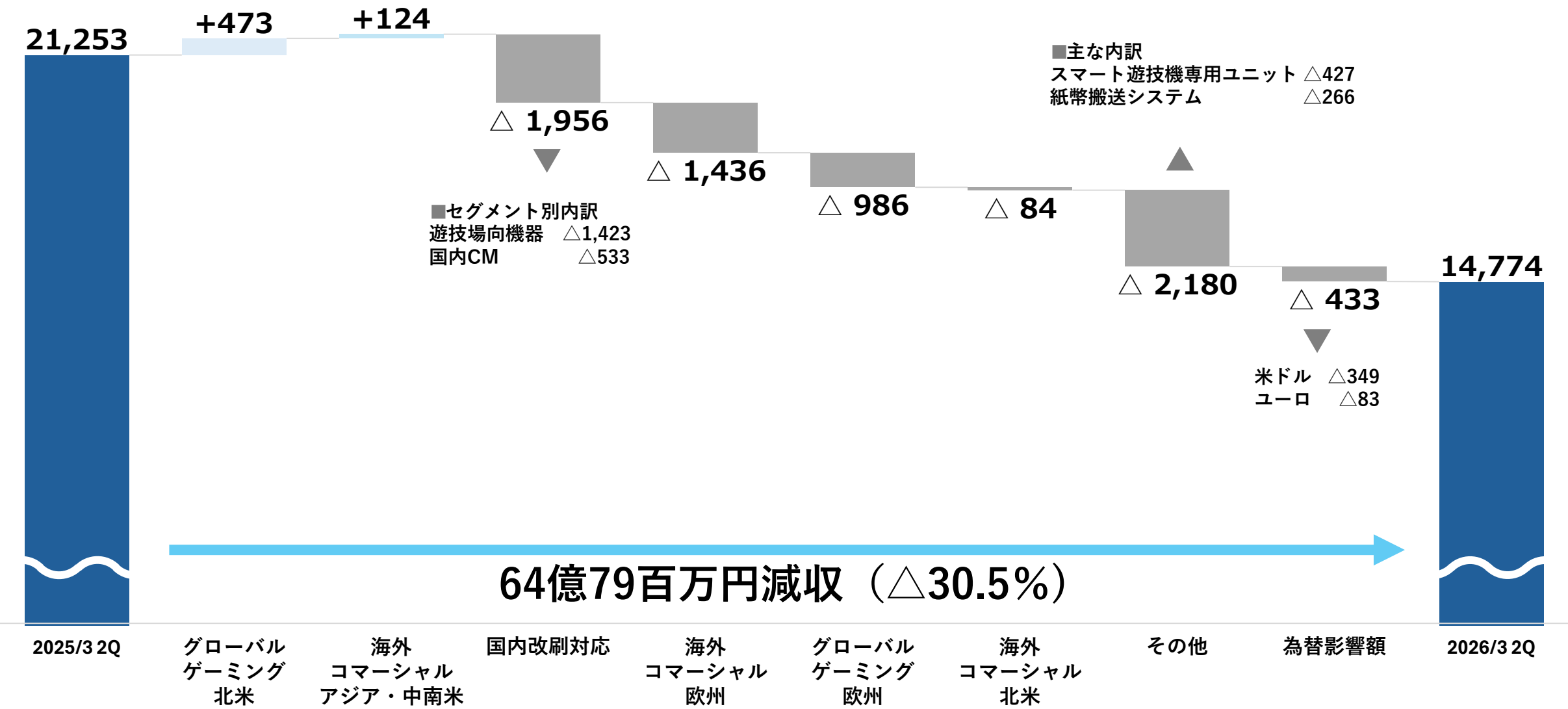
■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

単位：百万円	2025/3 2Q		2026/3 2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	21,253	100.0%	14,774	100.0%	△ 6,479	△30.5%
営業利益	3,755	17.7%	820	5.6%	△ 2,934	△78.1%
経常利益	2,993	14.1%	1,011	6.8%	△ 1,982	△66.2%
(特別利益)	109	0.5%	3,296	22.3%	3,187	+2,910.9%
中間純利益	2,490	11.7%	3,288	22.3%	798	+32.1%
1株あたり中間純利益	91.80円		121.45円		+29.65円	
平均為替レート	米ドル	154.09円	147.50円		△6.59円	
	ユーロ	166.22円	162.30円		△3.92円	

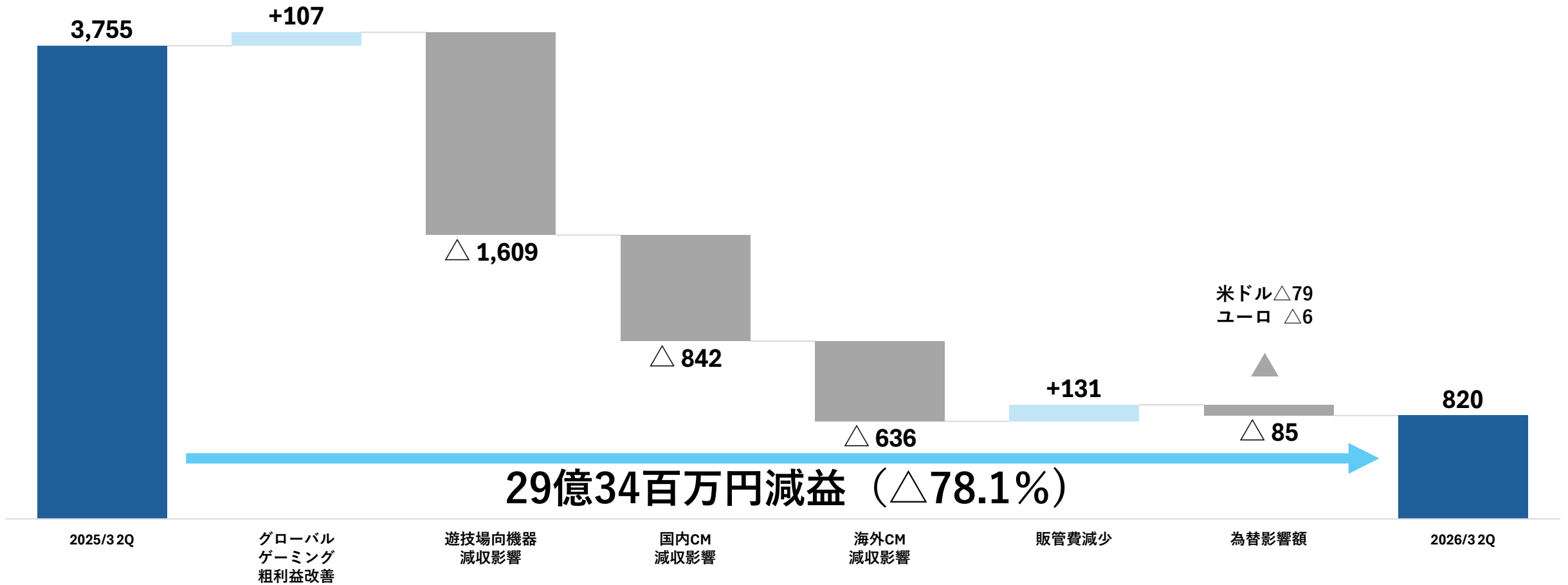
単位：百万円



単位：百万円

■主な増減要因

- ・売上高の減少による影響が大きく、
販管費の抑制に努めたものの営業利益は減少



■ 中間期 連結業績ハイライト

■ 中間期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期 連結業績予想

■ 株主還元

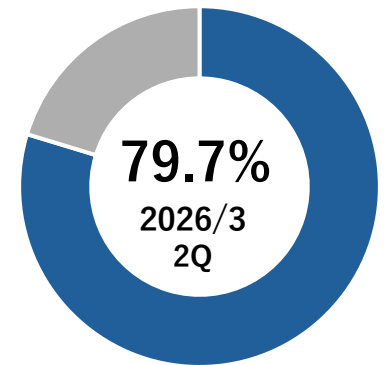
■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

単位：百万円	2025/3 1Q	2025/3 2Q	2025/3 3Q	2025/3 4Q	2026/3 1Q	2026/3 2Q
売上高	10,104	11,149	9,076	7,485	7,612	7,161
グローバルゲーミング	4,780	5,904	5,710	5,082	4,937	4,840
海外コマーシャル	1,716	1,720	1,167	1,103	1,037	963
国内コマーシャル	1,327	1,094	892	491	648	532
遊技場向機器	2,280	2,429	1,304	809	988	826
セグメント利益	1,917	1,837	1,047	107	441	379
グローバルゲーミング	1,067	1,220	1,310	770	1,060	1,154
海外コマーシャル	△ 109	△ 63	△ 238	△ 155	△ 335	△ 226
国内コマーシャル	567	387	176	16	65	22
遊技場向機器	683	705	147	△ 99	△ 27	△ 131
調整額 (各セグメントに配分していない全社費用)	△ 290	△ 412	△ 348	△ 424	△ 321	△ 438

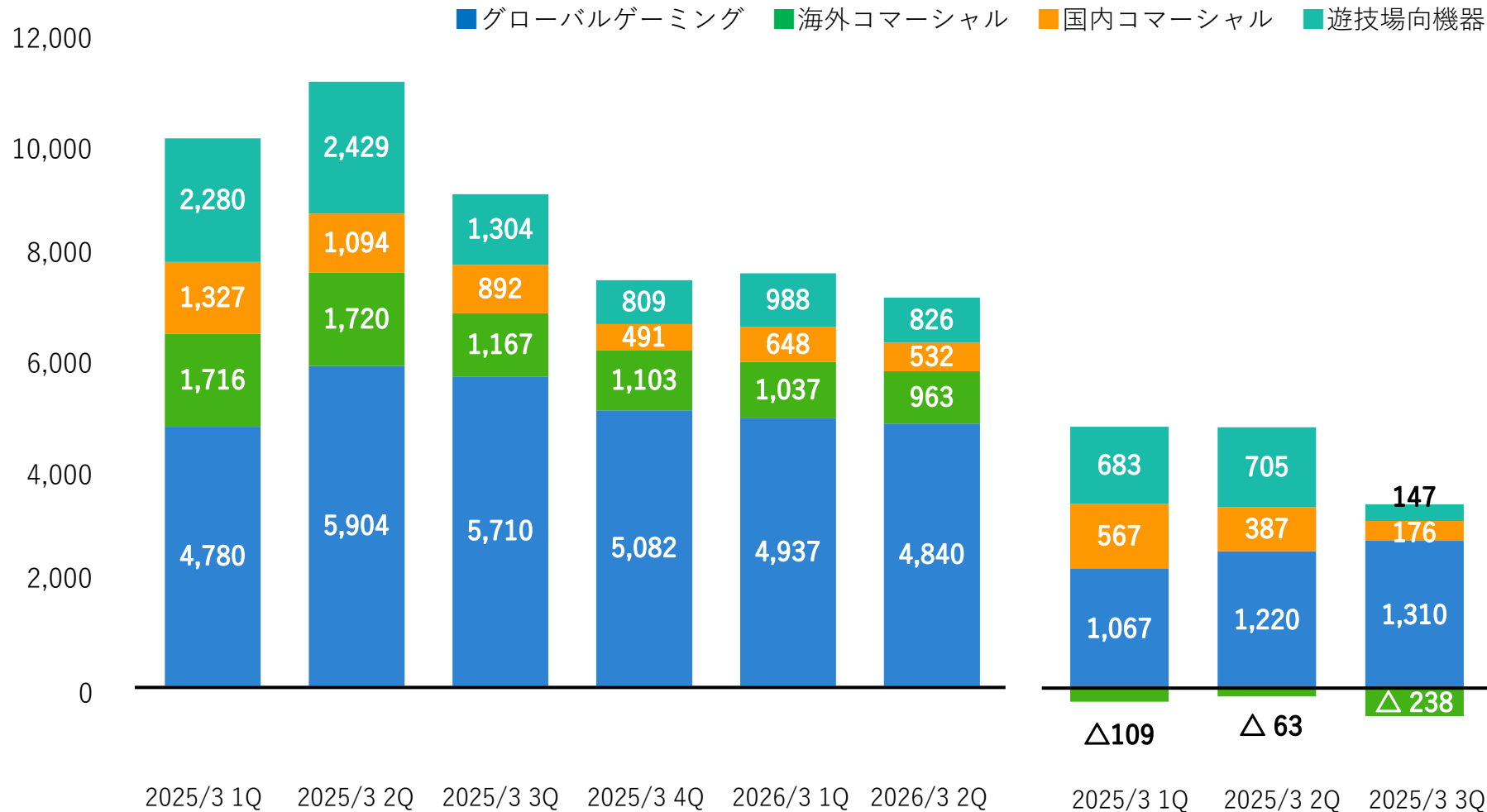
海外売上高比率



(2025/3 2Q 66.4%)

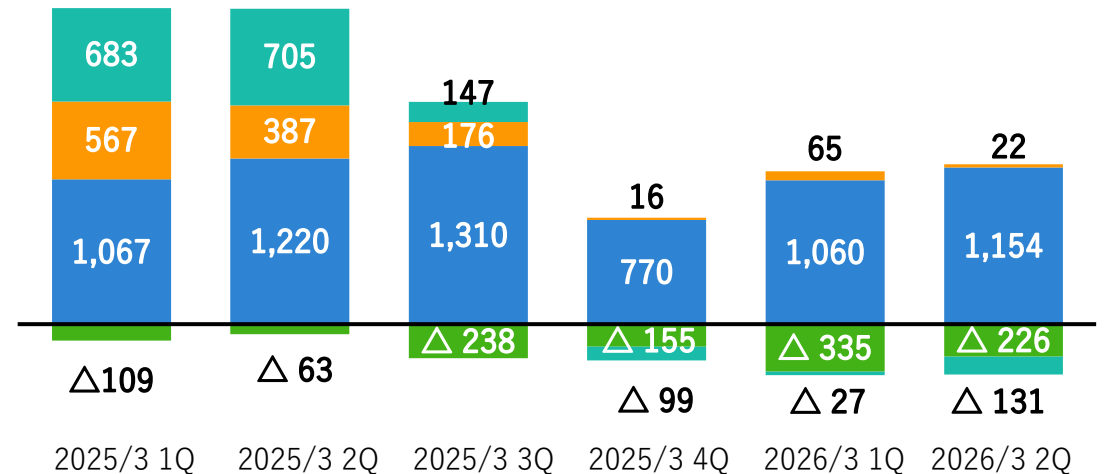
セグメント別売上高

単位：百万円



セグメント利益

※調整額を除く





■事業概要

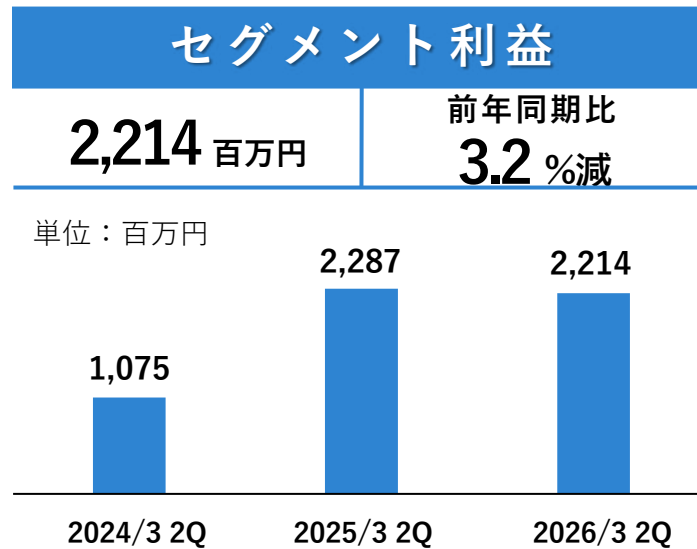
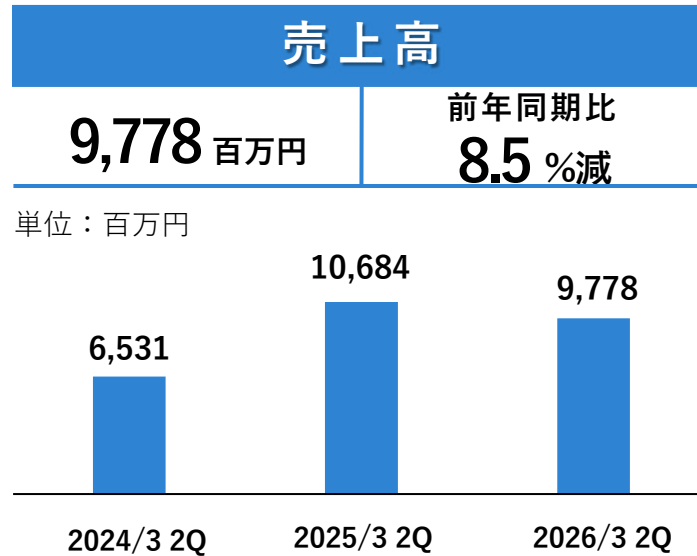
主な市場は北米カジノホテルのゲーミングエリア、欧州のストリートのゲーム場
ゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニットやプリンターユニット、カジノホテルの省力化や自動化のためのシステム製品等を販売

■主な納入先

スロットマシンメーカー、カジノホテル

■業績概況

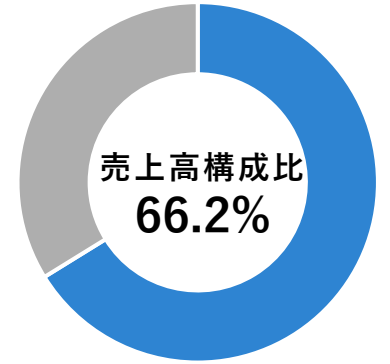
北米地域でのゲーミング機器搭載用の紙幣識別機ユニット等の販売が売上を牽引する一方で、欧州地域についての販売減少が足踏み要因



主な製品



プリンターユニット



紙幣識別機ユニット



カジノホテル現金回収業務
自動化システム



テーブルゲームシステム
(紙幣還流ユニット・プリンターユニット搭載)



■事業概要

流通・交通・金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先

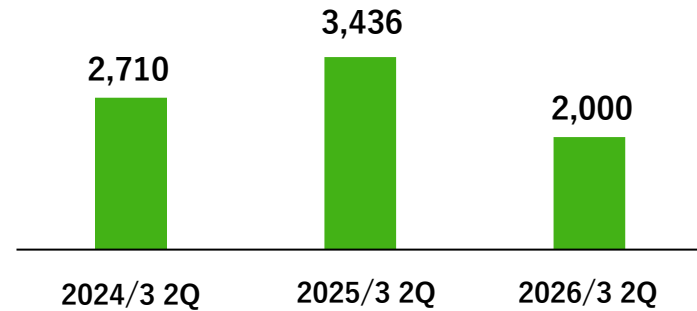
完成品メーカー（セルフレジ、キオスク端末等）

■業績概況

欧州地域向けの紙幣還流ユニットの販売が減少
中南米地域の新規市場開拓は徐々に案件を受注しつつあるものの、依然として売上貢献は限定的

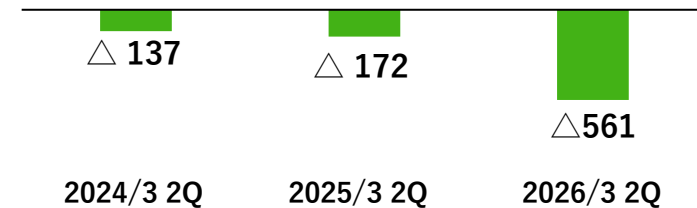
売上高	
2,000 百万円	前年同期比 41.8 %減

単位：百万円

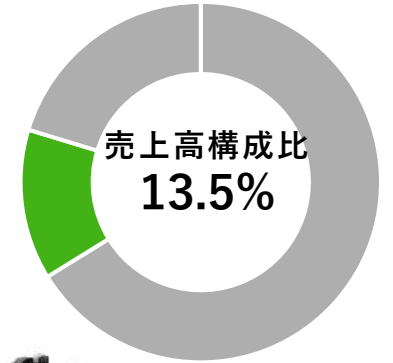


セグメント利益	
△561 百万円	前年同期比 —

単位：百万円



主な製品



紙幣還流ユニット



自動釣銭機



紙幣識別機ユニット



■事業概要

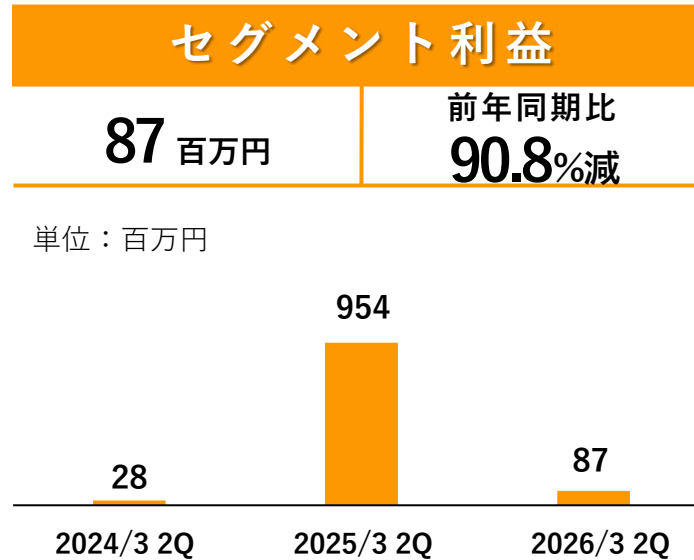
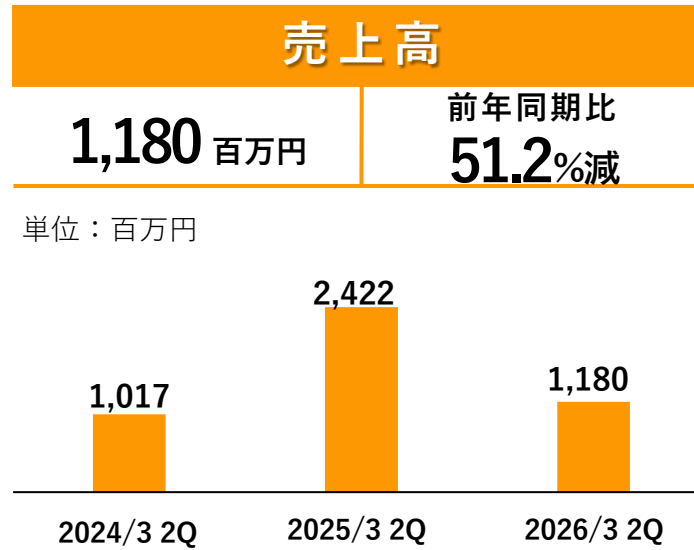
流通、交通、金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先

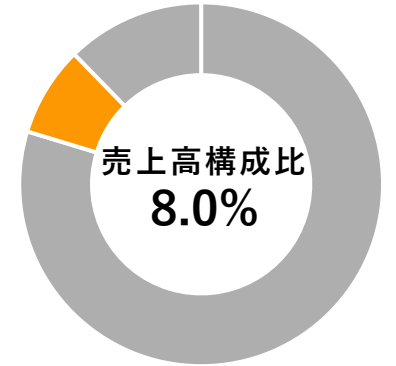
完成品メーカー
(飲食店セルフ精算機、コインパーキング、セルフガソリンスタンド、バス等)

■業績概況

新紙幣発行に伴う更新特需の反動により、当社製品の販売は減少した一方で、当中間期は、新紙幣発行前並みの水準で推移



主な製品



紙幣還流ユニット



キャッシュレス対応
自動精算機



硬貨還流ユニット



■事業概要

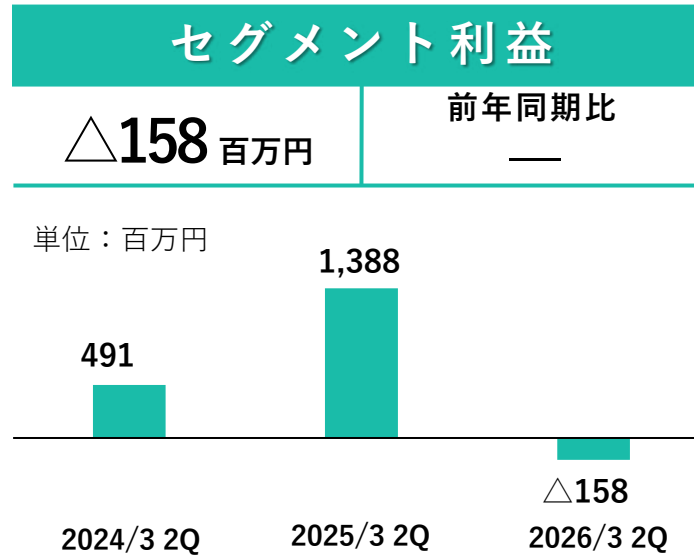
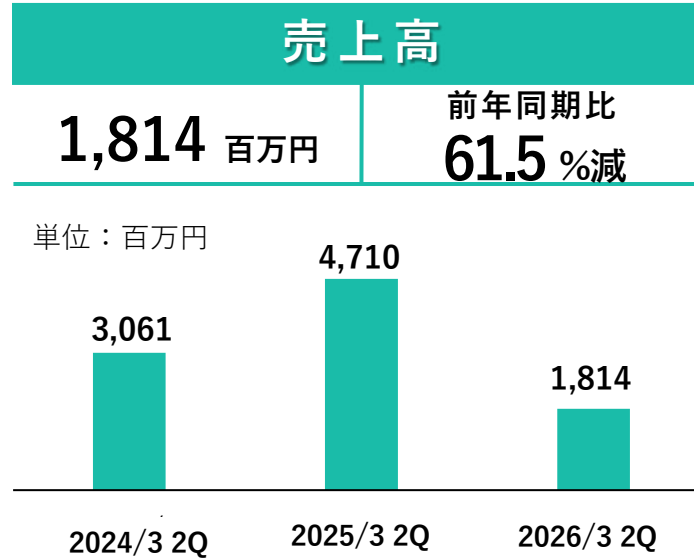
パチンコホール向けに、スマート遊技機専用ユニット、玉・メダル貸機、メダル自動補給システム等の周辺設備機器を販売

■主な納入先

パチンコホール

■業績概況

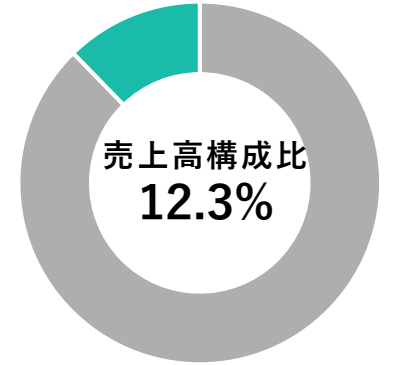
新紙幣発行に伴う更新特需の反動により、顧客における設備投資意欲の抑制傾向が継続し、スマート遊技機専用ユニットを含む主力製品の販売が減少



主な製品



景品管理POS



紙幣搬送システム



景品払出機



スマート遊技機
専用ユニット

■ 中間期 連結業績ハイライト

■ 中間期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期 連結業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■ 当期の通期業績は、現時点で売上高・利益ともに期初予想どおりに推移

■ 下半期セグメント別売上の見通し

グローバルゲーミング

北米：良好な市場環境による増加
欧州：景気動向の影響による減少

海外コマーシャル

欧州：顧客の在庫調整の影響による減少
アジア：交通市場向けの販売が増加
北中南米：新規市場の立ち上がりの遅れ

国内コマーシャル

遊技場向機器

改刷特需の反動も下半期は下げ止まりの傾向

■ 通期業績予想

単位：百万円

売上高	31,000
営業利益	1,400
経常利益	1,000
親会社株主に帰属する当期純利益	3,200
1株当たり当期純利益	117.96円

平均為替レート	米ドル	146.85円
	ユーロ	166.97円

■ 中間期 連結業績ハイライト

■ 中間期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期 連結業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■ 2026年3月期の中間配当

- ・ 中間普通配当 1株当たり20円
- 支払開始日：2025年12月5日

■ 2026年3月期の年間配当予想

- ・ 年間普通配当 1株当たり40円
- (中間配当 1株当たり20円、期末配当 1株当たり20円)

配当方針

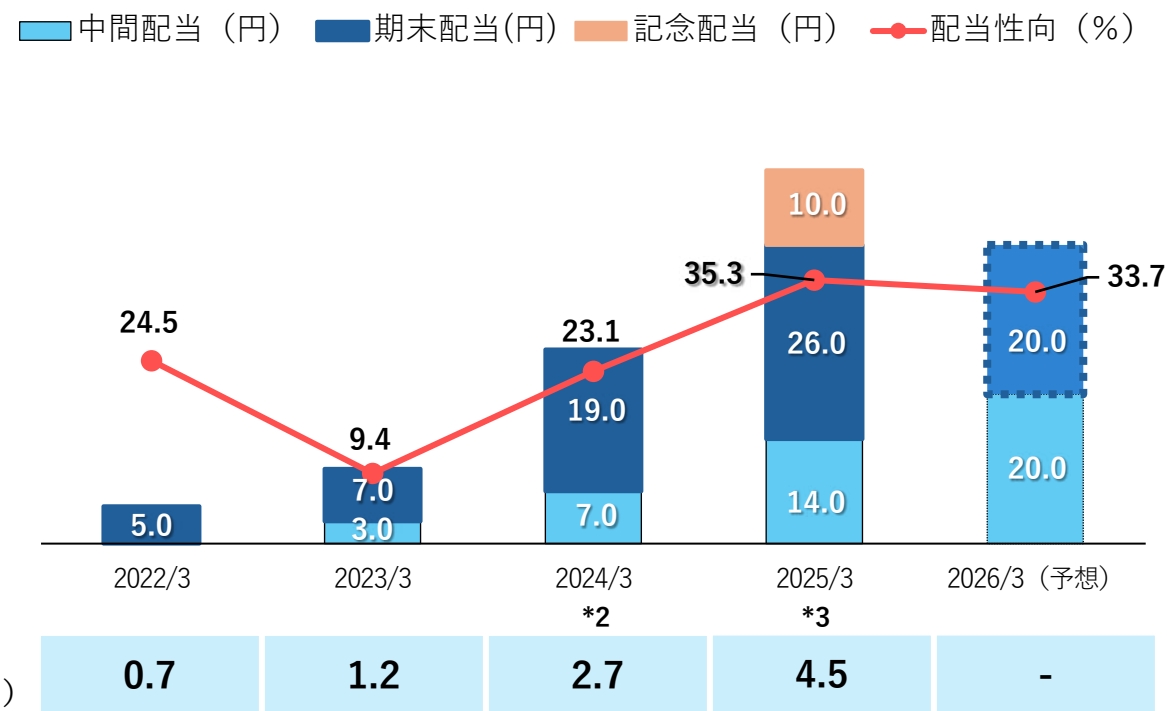
業績連動型株主還元を継続

- 配当性向（連結）30%以上 *1
- 純資産配当率（連結）2.0%以上

*1 ごく短期的な利益変動要因による影響を除いて決定することがあります。

*2 2024年2月に自己株式の取得（19億円）を実施。

*3 2024年5月に自己株式の取得（15億円）を実施。



■ 中間期 連結業績ハイライト

■ 中間期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期 連結業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■中期経営計画「JCM Global Vision 2032」(2023年～2025年度)

現在、中期経営計画の見直しを進行中 改定後の計画策定が完了次第、速やかに公表予定

単位：百万円

売上高

60,000 -

50,000 -

40,000 -

30,000 -

20,000 -

10,000 -

0

■ 数値目標(売上高)

■ 実績(売上高)

● 数値目標(営業利益)

● 実績(営業利益)

2021/3

2022/3

2023/3

2024/3

2025/3

2026/3

2033/3

17,010

20,040

25,258

当初
目標値
28,600

31,610

38,815

38,500

55,000

△2,589

568

622

当初
目標値
1,500

2,839

2,625

3,080

31,000

1,400

5,500

2025年3月期：主な増加要因

- ・新紙幣の更新特需による上振れ
- ・スマート遊技機専用ユニットの販売特需

2026年3月期：主な減少要因

- ・新紙幣の更新特需による反動減
- ・海外CMの新規市場進出の遅れ、欧州地域の販売低調
- ・スマート遊技機専用ユニットの販売特需の終息

2026年3月期
通期業績予想

JCM Global Vision 2032
2032年度の数値目標

営業利益

-6,000

-4,000

-2,000

-0

-△2,000

△4,000

■ 中間期 連結業績ハイライト

■ 中間期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 通期 連結業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

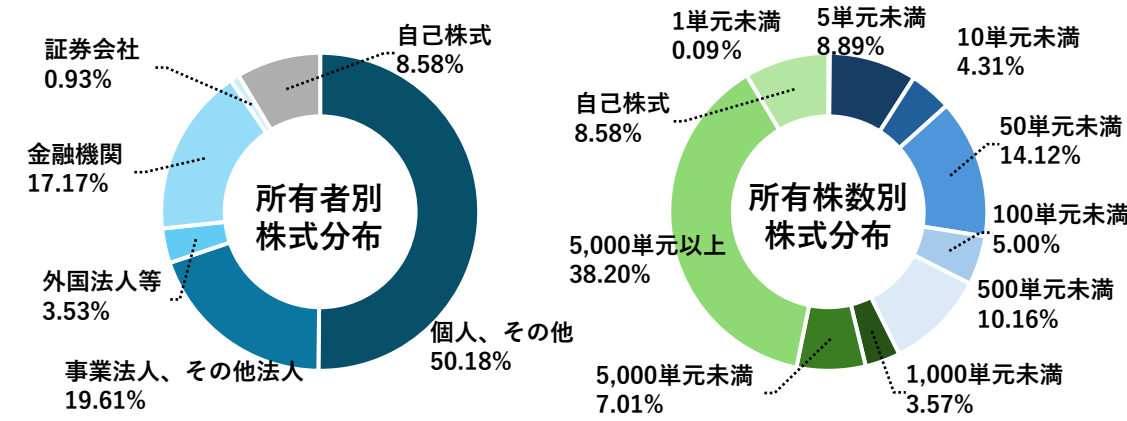
- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

商号	日本金銭機械株式会社 Japan Cash Machine Co.,Ltd.
設立	1955年1月11日
代表者	代表取締役社長 上東 洋次郎
本社所在地	大阪市浪速区難波中二丁目11番18号 パークスサウススクエア

上場区分	東証プライム市場
社員数	570名（2025年3月31日現在）
資本金	22億2,031万円（2025年3月31日現在）
事業所	本社（大阪市浪速区）、東京本社（東京都港区）、 長浜工場（滋賀県長浜市）
海外拠点	アメリカ（ラスベガス、ダラス）、ブラジル、 ドイツ、タイ、フィリピン

株式の状況（2025年9月30日現在）

発行可能株式総数	118,000,000株	1単元の株式数	100株
発行済株式の総数	29,672,651株	株主数	24,622名



株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	17.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,996	11.05
上東 洋次郎	1,466	5.41
上東 好子	638	2.35
株式会社りそな銀行	563	2.08
日本金銭機械従業員持株会	504	1.86
株式会社三井住友銀行	503	1.86
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	442	1.63
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.59
日本生命保険相互会社	403	1.49

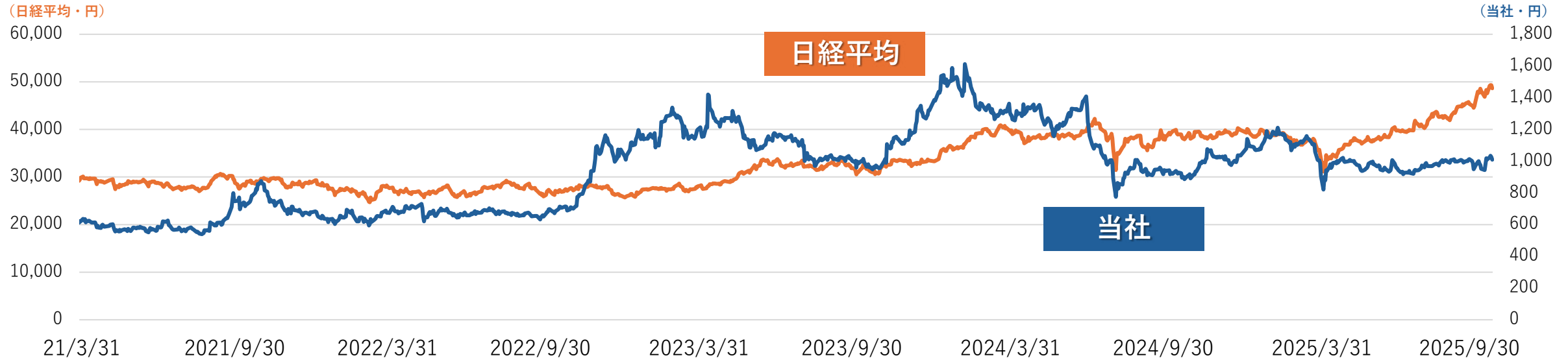
(注) 1. 当社は、自己株式を2,545,490株保有（2025年9月30日現在）しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

Our History

1955年に創業して以来、当社は貨幣処理機器メーカーという専門性の高い分野を担うメーカーとして、「人と人」、「人と貨幣」を円滑につないできました。これまで世界市場を舞台に貨幣流通のスペシャリストとして培った技術を基に、それぞれの市場に求められる新たな価値を提供できる、国際企業として人々の期待と信頼に応え続けていきます。



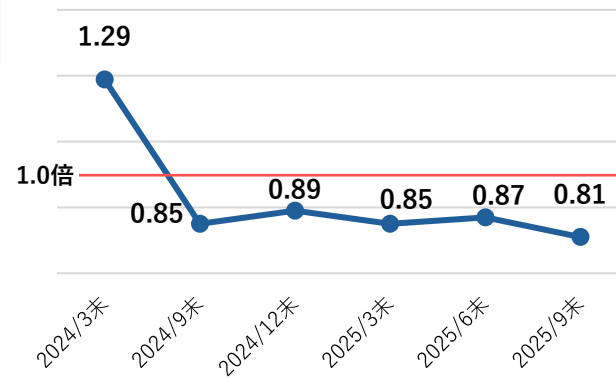
株価の推移



PBR

0.81倍 (2025/9末)

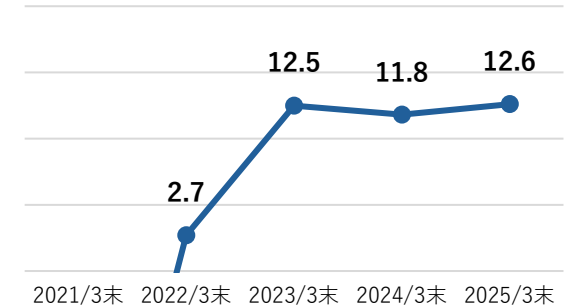
持続的な維持・向上に
向けた基準値
1.0倍以上



ROE

12.6% (2025/3末)

中期経営計画目標値
8%以上



■ 資産、負債及び純資産：＋3億30百万円

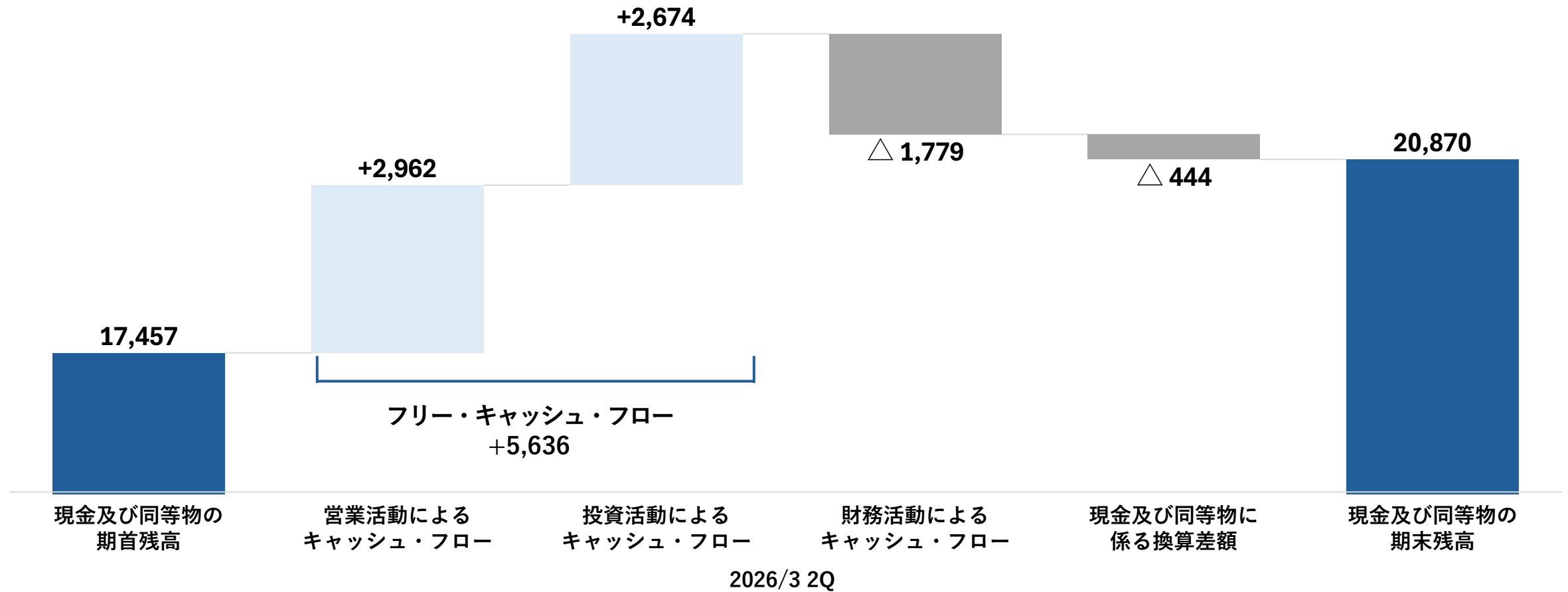
- 流動資産 ＋ 6億42百万円：現預金・有価証券の増加
- 有形固定資産 △16億13百万円：東京本社売却による減少
- 純資産 ＋ 22億59百万円：利益剰余金の増加

単位：百万円		2025/3末	2025/6末	2025/9末	前期末比増減	単位：百万円		2025/3末	2025/6末	2025/9末	前期末比増減
流動資産	現預金・有価証券	17,497	17,350	21,665	＋4,167	流動負債	買掛債務	2,201	2,024	1,365	△ 836
	売掛債権	6,068	5,687	4,934	△ 1,133		短期借入金	1,500	1,500	1,500	＋0
	棚卸資産	17,061	15,461	14,613	△ 2,447		その他	4,366	4,641	4,539	＋172
	その他	838	1,012	895	＋56	流動負債合計		8,068	8,166	7,404	△ 663
流動資産合計		41,465	39,510	42,108	＋642	固定負債	社債・長期借入	9,120	8,700	8,370	△ 750
固定資産	有形固定資産	4,080	4,124	2,466	△ 1,613		その他	165	157	312	＋147
	無形固定資産	195	174	189	△ 6	固定負債合計		9,285	8,857	8,682	△ 602
	投資その他の資産	3,540	3,735	4,858	＋1,317	負債合計		17,354	17,023	16,087	△ 1,266
固定資産合計		7,816	8,034	7,514	△ 302	純資産	資本金	2,220	2,220	2,220	＋0
繰延資産	繰延資産その他	102	97	91	△ 10		資本・利益剰余金	30,229	29,294	32,489	＋2,259
							その他	△ 419	△ 895	△ 1,082	△ 663
繰延資産合計		102	97	91	△ 10	純資産合計		32,031	30,619	33,627	＋1,596
資産合計		49,385	47,642	49,715	＋330	負債純資産合計		49,385	47,642	49,715	＋330

単位：百万円

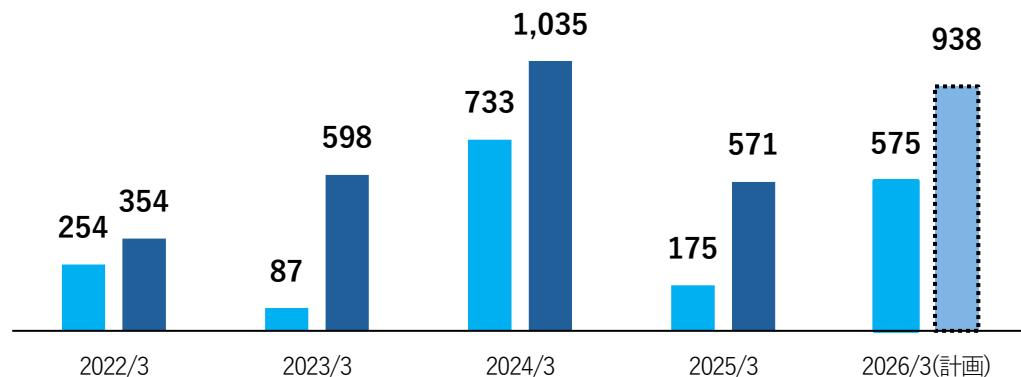
■主な増減要因

- ・営業活動C F：効率的な生産・販売活動に伴い在庫消化が進んだことにより増加
- ・投資活動C F：有形固定資産の売却により増加
- ・財務活動C F：長期借入金の返済や配当金の支払い等により支出



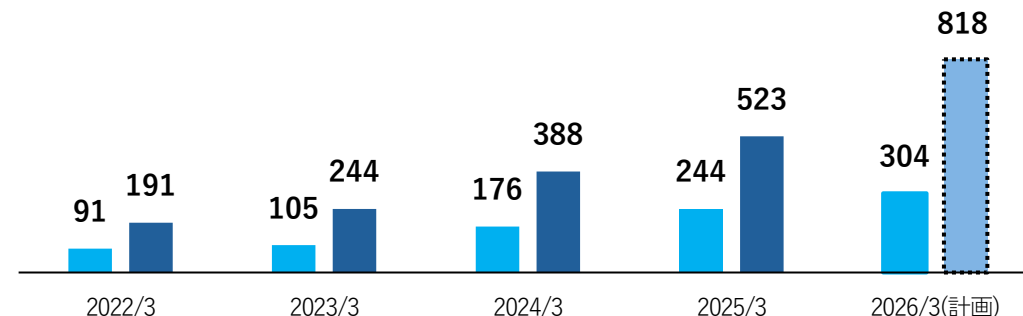
設備投資額

■ 上半期 ■ 通期 (百万円)



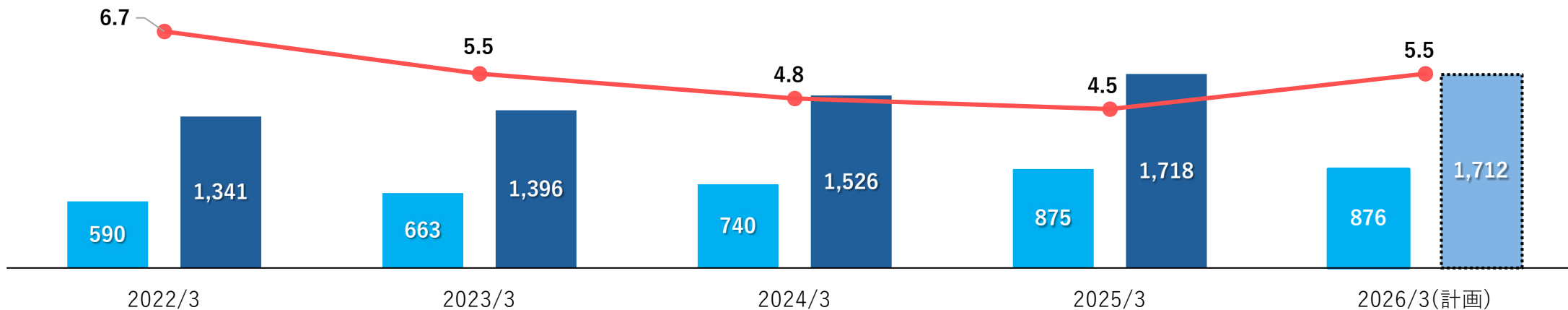
減価償却費 (のれん除く)

■ 上半期 ■ 通期 (百万円)



研究開発費・対売上高比率

■ 上半期 ■ 通期 (百万円) ● 対売上高比率 (%)



■ 為替感応度：円安は業績プラス要因

1円変動による影響額（通期：百万円）		2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2025/9
期中平均レート	米ドル	110.37円	132.08円	141.20円	152.28円	147.50円
	ユーロ	130.37円	138.58円	153.20円	164.45円	162.30円
売上高	米ドル	87	91	99	149	69
	ユーロ	35	48	59	65	23
営業利益	米ドル	30	11	14	37	19
	ユーロ	5	3	3	6	1
期末日レート	米ドル	122.41円	133.54円	151.42円	149.53円	148.89円
	ユーロ	136.85円	145.76円	163.38円	162.09円	174.50円
営業外損益	米ドル	42	40	33	37	48
	ユーロ	4	4	5	4	6

グローバルゲーミング



海外コマーシャル



国内コマーシャル



遊技場向機器



グローバルゲーミング

■世界のゲーミング市場における高いブランド力

JCMグループは、米国、欧州をはじめとした世界のゲーミング市場において、ゲーミング関連機器等の販売と各種サービスを提供しており、現在、北米で約190を超えるゲーミングライセンスを取得し、世界のゲーミング市場における実績とノウハウを保有する数少ない日本企業であります。

■カジノホテル向けスロットマシンのメーカーをはじめ、周辺設備機器、システムソリューションやサービスなど、幅広いジャンルの関連企業が集まるゲーミングショーに毎年出展し、新製品や当社の最新技術を紹介しております。

本年は、当社製品「ICB ASAP®」が「Best Productivity-Enhancement Technology」部門で第1位を獲得いたしました。



世界最大のゲーミングショー
Global Gaming Expo
ラスベガス



カジノホテル
現金回収業務自動化システム
「ICB ASAP®」



欧州最大のゲーミングショー
International Casino Exhibition
バルセロナ



アジア最大のゲーミングショー
Global Gaming Expo ASIA
マカオ

海外コマーシャル

■コマーシャル市場の開拓

JCMグループは、北米及び中南米地域のコマーシャル市場の開拓、当社製品の販売拡大を目的として、コマーシャル事業に特化した販売子会社を設立し、コマーシャル事業をゲーミング事業に次ぐ主力事業とすべく、積極的な販売提案活動に注力しております。

■海外コマーシャル市場におけるシェア拡大に向けて、世界各地の金融・流通向け市場の展示会に出展し、新製品を含め多数の当社製品を紹介や、協力企業との共同出展により更なる販路拡大に努めております。



欧州最大の流通業界向け展示会
Euro CIS
ドイツ



北米最大の金融・流通業界向け展示会
National Retail Federation
ニューヨーク



北米最大の小売り業界向け展示会
NACS Show
ラスベガス



南米の金融・流通業界向け展示会
FEBRABAN TECH
ブラジル



■環境

気候関連のリスク及び機会に関する当社グループの指標と目標は、Scope 1、2について、2025年度までに温室効果ガス排出量40%削減（2018年度比）を目指します。

温室効果ガス排出量実績及び目標 (単位：t-CO₂)

2025年度 目標	2018年度 実績比	削減に向けた対応	2023年度 実績 (参考)
640	△40.0%	- カーボンニュートラル都市ガスの導入検討 - 省エネルギー性能の高い社屋への本社移転 - 本社、東京本社および長浜工場での再生可能エネルギーの導入検討	610



■人的資本

当社グループの人的資本に対する基本方針は、従業員は「お互いを尊重し合い、個性を発揮しながら仕事を通じて人として成長し続けること」、会社は「人が成長し続ける機会を、仕事を通じて提供していくこと」で、従業員一人ひとりが家庭と職場に良い影響を与え、それらが集結することで継続的に価値を創造し続ける企業であり続けることが出来ると考えております。

今後、より一層事業のグローバル化を進めていく中、人事戦略の世界基準となっている「ダイバーシティの拡充」、「中核人材の育成」、「多様な働き方の実現」を当社の人材戦略の中心とし、その取り組みを推進してまいります。

当社グループではサステナビリティ推進にあたり、前述のとおり人的資本を重要視しており、上記各方針の実現に向けて、次の指標を用いており、当該指標に基づく目標及び実績は以下のとおりです。

指標	対象範囲	目標	実績 (2025年3月期)
採用に占める 女性比率	単体	30%以上	52.8%
正社員に占める 女性従業員比率	単体	2032年までに20%	18.2%

当社のサステナビリティの取り組みについては統合報告書にまとめておりますので、下記の当社ウェブサイトをご参照ください。

統合報告書 https://www.jcm-hq.co.jp/ja/ir/library/r_annual.html

日本金銭機械株式会社（日本語）

<https://www.jcm-hq.co.jp>

JCM Global（English）

<https://jcmglobal.com>



過去の決算説明資料は、ホームページ(日本語)でもご覧いただけます。

「投資家情報」 → 「IRライブラリー」 → 「決算説明会資料」

お問合せ先： 経営企画本部 広報・IR担当 06-6643-8400(代)

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行わないようお願いいたします。